



学校だより

2月号
横浜市立桜台小学校
令和3年1月29日発行



練習はうそをつかない

副校長 高浜 正太郎

休み時間の終わり頃になると、子どもたちが運動場に集まってきます。次に、間隔を取りながら広がり、自分の得意な跳び方で5分間（なわとび1分間＋休憩30秒×3セット）なわとびをします。そして、跳べた回数をカードに記録し、色を塗ります。さらに、カードの裏面を見ると、「先生にチャレンジ」というコーナーがあり、本校の教員6名のなわとび画像を見て、跳び方の種類や回数に挑戦するという設定になっています。これらをすべてクリアすることで、1枚目のカードが完成して、2枚目のカードへと挑戦が続いていきます。子どもたちにとっては、めあてをもって取り組める内容になっているので、一人ひとりの表情を見ると、どの子も真剣なまなざしでとても熱心になわとびをしています。カードの両面を全てクリアすると賞状がもらえるということになっています。

今年度より、本校では体育科担当教員と若手教員が中心となり、全校でのなわとびによる体力向上の取り組みを進めています。何度も会議を開き、活動の進め方やカードの内容について検討を重ねてきました。なわとびには、跳べる回数に挑戦できる楽しさと跳ぶ技の種類を増やす楽しさをもち合わせた運動の特性があり、脚の筋力、体力、持久力、バランス感覚を総合的に伸ばしていくことができます。このような取組を通して、「積極的に運動しよう」「体力を高めていこう」という意欲を子どもたちがもてるよう願っています。

「継続は力なり」とあるように、運動に限らず漢字や計算等の学習においても、こつこつと学習して積み重ねてきたことが、やがて成果となって表れてくることは多々あります。以前、自分自身が担任していたクラスの子どもから「先生、逆上がりができるようになったよ。練習はうそをつかないんだね。」と満面の笑みを浮かべながら言われたことがあります。

「練習はうそをつかない」

この言葉の意味を、桜台小学校の子どもたちにも機会あるごとに伝えています。

暦の上では立春が近づいて参りましたが、まだまだ寒さの厳しい毎日が続きます。空気も乾燥していることから、感染症を防ぐために、引き続き衛生管理の徹底と子どもたちへの指導に努めてまいります。ご家庭でもお声かけくださるようよろしくお願いいたします。



中休みのなわとびの様子